
恐ろしい昔話

スージー石見

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
恐ろしい昔話

【Nコード】
N0316D

【作者名】
スージー石見

【あらすじ】
ショートショートホラーストーリー。

昔々、あるところにおばあさんとおじいさんが住んでいました。おばあさんは60を過ぎていましたがまだまだとても元気である商事会社で課長をしていました。おじいさんは同じ会社に勤めていましたが結婚を機に退職して主夫をしていました。

「こちら、〇〇〇の悩み相談室です。」

「おはようございます。」

「どんな悩みですか？」

「実は妻が暴力を振るうんです。」

「どんな風に？」

「酒を飲んで自分の気に入らないことがあるとたとえば酒の肴がまずいとか、買い物の帰りが遅いとか。普段はおとなしくていい人なんです。」

「嫉妬深いですか？」

「ええ、結婚前はそんなじゃなかったんですけどね。」

「結婚生活はどのくらいになりますか？」

「いつからそんな風ですか？」

「一緒に生活するようになってからです。」

「このことで話し合いをしたことがありますか？」

「いいえ、とんでもない。怖くてとてもじゃないけど口には出せません。」

「話し合いが大事です。まず、試してください。」

おじいさんはとっても悩んでしまいました。ふと、おじいさんの頭に1つの考えが浮かびました。

おじいさんがいなくなってしまう、おばあさんは親戚や友人の所をさがしましたが見つからず

の家出人公開番組に出ることにし

ました。

おじいさんは山奥のさびしい旅館でテレビをみていると「おじいさん、私が悪かったよ。戻ってきておくれ。」おばあさんが泣いているのが画面に映りました。

「パパ、パパ、こんなところで寝ちゃだめだよ、風邪引くよ。」則之は息子の孝に起こされて目が覚めた。孝の目覚まし時計をみるとまだ10時過ぎだ。孝に昔話の本を読んでいるうちにいつのまにか眠ってしまったらしい。自分が老人になって妻に虐待されている夢を見た。気がつくとも毛布がかけられていた。妻の綾子がかけてくれた。「綾子、ありがとう。お前を大切にするよ。」則之はダブルベッドで一人さびしく眠っている綾子の額に優しくキスをした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0316d/>

恐ろしい昔話

2010年11月20日02時58分発行